

～最も重要な決定は、何をするかではなく、
何をしないかを決めることである～【スティーブ・ジョブズ】

「働く」～人のために動く～

はたらく



「人が動く」「^{はたらく}傍を楽にする」「人を動かす」など、色々な諸説がありますが、「働く」こととはどういうことか、みなさんは考えたことはありますか？

生徒に「何のためにバイトしてるの？」と聞くと、「お金が欲しいから。」と答えます。まあ、その通りですね。生きていくためにはお金が必要です。お金を稼ぐためには働く他はありません。

では、なぜ働いたらお金が稼げるのか考えたことはありますか？「何を言っているんだ？」と思うでしょう。「そんなもん働いたら時給がもらえるからに決まってるやん。」と思ったでしょう。それはそうです。たとえば、モノを製造するとお客さんが商品を購入して、その代金の一部を給料としてもらう。ガソリンスタンドでは給油・洗車をし、その代金の中から給料をもらう。介護の仕事では利用者からいただいた利用料の中から給料をもらう。などなど・・・まあ、当たり前構図ですね。しかし、さまざまな目的を持ったお客さんの中で共通するものがあります。それは、自分が幸せに暮らすために、必要なモノ・サービスを生んでくれている働く人にお金を払っているということです。と、いうことは、反対にいうと、「人を幸せにするため」に働いているということです。また、「人の欲求を満たすため」でもあります。つまり、「お金は稼ぐことは人を幸せにすること」なのです。

製造業ではそのモノが欲しいという購買的欲求、サービス業をしてもらって綺麗な車で運転したいという自己実現の欲求、介護職は安心・安全の欲求や生理的欲求など、人の欲求を満たすために働いています。学年通信第2号でも書きましたが、前技術職員のS先生は西成高校の生徒のために学校を綺麗にしてられました。つまり、「働く」とは「人のために動く」ということです。

そしてもう1つ。自分が働いて人の欲求が満たされたときに「やりがい」が生まれるはずです。これからみなさんは「働く」ために進路指導を受けます。進路先を見つける際、やりがいある仕事がわからないとき、自分は人のために何ができるのか考えてみてください。そこに自分のやりたい仕事があるのかも・・・



最後のねばいを！～中間考査～

明日から中間考査が始まります。就職する人も、進学する人も、1学期の期末考査までの成績が評定平均に反映されます。希望の就職先・進学先に絶対に行くんだ！と強く思うならば、自然と最後の粘りを見せるはずですよ。しっかりと時間割を見て、自分がいつどの科目のテストなのか、いつ勉強するのか合理的に計画をたてて考査に挑んでください。

熱い、熱い夏を！～体育祭応援団～

放課後に選択教室から聞こえる演舞の声。各団、最後の体育祭に向けて練習に励んでいます。その裏で、毎日、体育館の雨天練習場で応援団旗の作成に取り組んでいる生徒たちがいます。先週に各団旗が完成しました。本当にありがとう！

出来上がった旗たちは体育祭を今か今かと待っています。当日が非常に楽しみです。